

伊集院保健所感染症情報

2025年第21週（令和7年5月19日～令和7年5月25日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，伝染性紅斑

管内流行発生注意報発令中：水痘

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第18週	第19週	第20週	第21週	先週からの増減	第20週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	142.50	110.50	176.50	127.00	↘	72.26	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.50	0.50	0.50	→	1.11	↗
COVID-19	—	—	—	1.50	0.00	2.50	1.00	↘	0.74	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	2.00	6.00	10.00	4.00	↘	1.35	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	8.00	6.00	10.00	11.00	↗	3.39	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	8.00	5.00	7.00	6.00	↘	10.71	↗
水痘	2	1	1	3.00	0.00	1.00	1.00	→	0.48	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.03	↘
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	0.00	2.00	4.00	↗	0.90	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.23	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	3.00	1.00	2.00	↗	0.45	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

百日咳の新規感染者が増加しています。注意しましょう！！

百日咳は、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（^{けいがいほっさ}痙咳発作）を特徴とする急性の気道感染症です。百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でないために乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児では重症になり、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。

○感染経路は、飛沫感染や感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。

○百日咳の予防対策には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。また、患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

◎6月1日から6月7日はHIV検査普及週間です！

保健所では、HIV検査普及週間にあわせ、以下の日程で検査を実施します。

検査の希望がある場合は、必ず電話にて事前予約をお願いします。

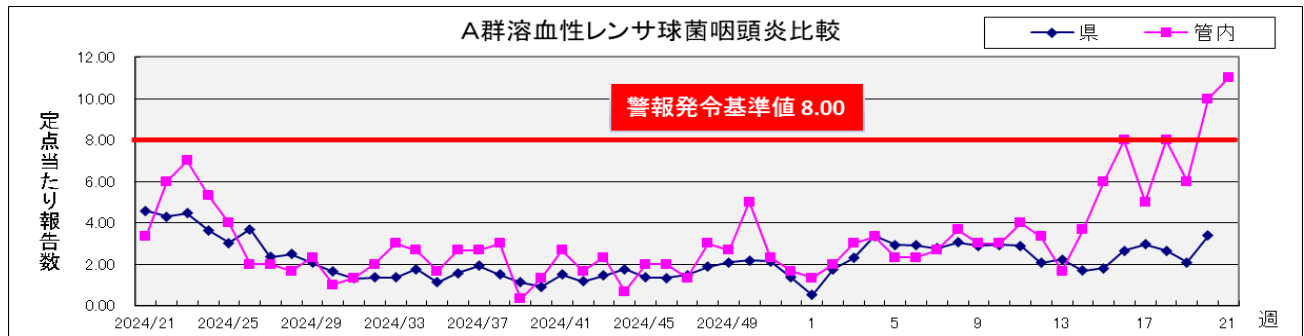
実施日：6月2日（月曜日）17時から19時

検査予約締め切り：5月30日（金曜日）17時まで

連絡先：099-273-2332（伊集院保健所）

● 注意すべき感染症

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



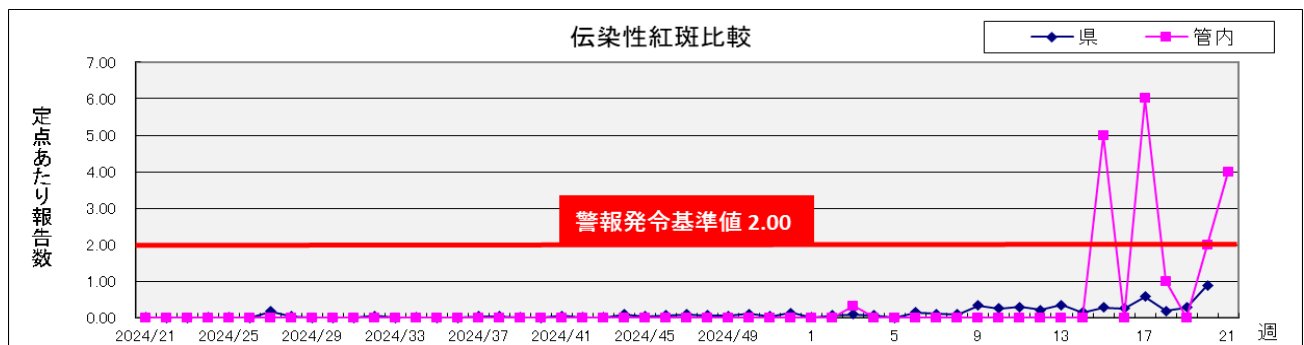
第 21 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、11 人でした。年齢別では、4 歳・9 歳（各 3 人）、1 歳・2 歳・3 歳・5 歳・7 歳（各 1 名）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第 21 週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、4 人でした。年齢別では、3 歳（2 人）、4 歳（1 人）、8 歳（1 人）の報告でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は 1 週間程度で消失します。

感染経路は、感染した人の咳のしぶき（飛まつ）を吸い込むことによる感染（飛まつ感染）や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 5/19～5/25（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザ B 型 1 人、溶連菌感染症 1 人、マイコプラズマ感染症 4 人、COVID-19 が 2 人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ B 型	溶連菌 感染症	マイコプラ ズマ感染症	新型コロナ 感染症
日置市	○	1	4	1
いちき串木野市	1	○	○	○
三島村	○	○	○	1
十島村	○	○	○	○
計	1	1	4	2